

これまでの経緯

- 補助金申請者： 株式会社みらい造船(2015年5月1日設立)
4造船事業者(木戸浦造船(株)、(株)小鯖造船所、(株)澤田造船所、(株)吉田造船鉄工所)及び3関連事業者(石川電装(株)、(株)小野寺鐵工所、(株)ケーヤード)の出資による新会社
2018年4月1日、みらい造船は4造船事業者を吸収合併
- 事業予定期間： 2015年10月 ～ 2019年5月
- 総事業費(上物)：105.5億円
造船復興補助金：70.3億円(当該補助金は、2013年に国交省が日本財団に基金を造成)
日本財団助成金 8億円、気仙沼市補助金1.5億円
日本財団を原資とした無利子融資(25.2億円)
民間借入金【船主・関連事業者】 0.5億円
- 整備施設・設備：修繕工場、アルミ工場、揚船設備(シップリフト)、棧橋、移動用レール、移動屋根レール、移動台車、移動屋根、高所作業車 等
- 敷地(約4万㎡)は気仙沼市から借受 用地取得・地盤改良に復興交付金 63.5億円

- 2015年5月 (株)みらい造船設立
- 2015年5月 造船復興補助金交付決定
- 2016年6月 (株)みらい造船が造船事業者として選定(公募)
- 2016年10月21日 起工式典開催(田中良生国土交通副大臣出席)
- 2018年4月1日 (株)みらい造船が4造船事業者を吸収合併
- 2019年5月末 造船所竣工
- 2019年7月末 新工場への移転完了
- 2019年9月8日 完成記念式典

気仙沼造船産業マップ



造船所全景



シップリフト

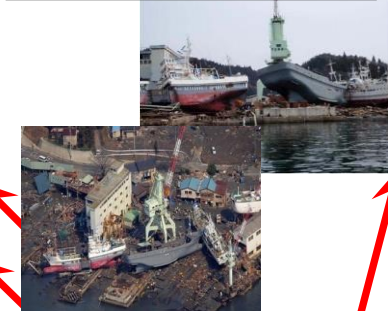


- ・ 能力向上：大型漁船を10隻同時に工事可能
- ・ 関連事業者(エンジン整備や電装)の施設も集約
- ・ 作業場所が平坦になり、作業効率アップ、陸上鋼構造物も建造可能
- ・ 防潮堤内施設で、災害時の安全・安心度の向上
- ・ 環境配慮型ヤード(洗浄水の海への流出防止等)

東北造船業の復興事業の状況

国土交通省は、造船業等復興支援事業費補助金※により被災中小造船所の移転・集約化による本格的な復興を支援。補助金の交付決定した8件19事業者による復興事業が令和元年5月末までに完了し、新たな施設で操業中。
 ※主に漁船の建造・修繕を行う中小造船・関連事業者が移転・集約化等による復興を図る施設・設備の整備に対して事業費の2/3を補助

震災直後の東北造船所



合同会社コーシンケミカル

(H27.11事業完了 補助金額 29百万円)

弘伸化工、伊藤藤店が、共同利用する新たな施設を整備。



新たな作業場



船舶引上装置

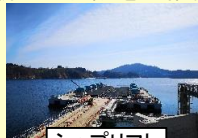
みらい造船株式会社

(令和元年5月事業完了 補助金額 7,033百万円)

木戸浦造船、吉田造船鉄工所、小鯖造船鉄工所、澤田造船所が合併するみらい造船が、新たな施設を整備。



新造船所の全景



シップリフト

株式会社聖人堀鉄工所

(H29.3事業完了 補助金額 1,331百万円)

聖人堀鉄工所が玉木造船化工を吸収合併し、新たな施設を整備。



新造船所の全景



トラベリフト

マリン遠山合同会社

(H27.6事業完了 補助金額 111百万円)

遠山工業、シミズモーターズが、共同利用する新たな施設を整備。



新造船所の全景



工場内部

合同会社大船渡ドックケミカル

(H29.3事業完了 補助金額 162百万円)

大船渡ドック、須賀ケミカル産業が、共同利用する新たな施設を整備。



新設した工場



新設した船台

株式会社南三陸造船鉄工所

(H28.10事業完了 補助金額 92百万円)

志津川造船鉄工所、カトーディーゼル、小野造船所が、共同利用する新たな施設を整備。



新造船所の全景



修復した船台

株式会社佐藤造船所・及川電機合同会社

(H29.3事業完了 補助金額 459百万円)

佐藤造船所、及川電機が、共同利用する新たな施設を整備。



新造船所の全景



船舶の上下架場

株式会社鈴木造船所

(H29.5事業完了 補助金額 2,015百万円)

鈴木造船所が海洋技研の造船部門を事業譲受し、新たな施設を整備。



新造船所の全景



新工場